

加賀日和 vol.1

CONTENTS

P04 エッセイ「愛しの南加賀」 吉本加代子

P06 紅の南加賀

P14 日本酒。その一滴に出会うまで

P16 南加賀「喰いもん放浪記」 やきとり民宿 哲代

P18 山中塗りの話

木場湯の朝

- P32 地図あります
- P30 つくる・人 手ぬぐいchacocoさん
- P28 南加賀文学散歩 泉鏡花『鶴狩』 片山津柴山湯
- P24 温泉に入ろう。 片山津「かのや光楽苑」
- P26 まちのお店屋さん 売り切れゴメンのイチゴ大福@谷口菓子舗



和の文化が息づく美しき癒しの地、
南加賀の魅力を再発見して欲しい。

photo&text: タカヤナギ ユタカ

南加賀の地は、靈峰白山に抱かれた古代からの信仰の地です。また、趣の異なる4つの温泉に恵まれた癒しの地でもあります。そして、日本の伝統工芸や和の暮らしを古くさいと否定した時代から、日本人のDNAに刻み込まれた古き良きものを見直す時代となって、この地は九谷焼、山中塗、加賀織などの「ものづくり」の文化息づく地でもあります。

古代、花山法皇が行幸し、

松尾芭蕉が逗留し、稀代の美術家、魯山人や、歌人、与謝野晶子たちが愛した南加賀は、まるで玉手箱のように、他の地にはない魅力が溢れる地です。

そんな愛すべき南加賀の魅力に、この地に住む人々はあまり気がついていないのではないでしょうか？ また、この地をビジネスや観光で訪れる人々は、ガイドブックなどに載っている表面的で断片的な情報を消費するだけで、

この地の真の魅力に触れることがないように思います。

それでは、あまりにもったいない。

『加賀日和』では、南加賀の魅力を再発見していただき、この地を愛する人が一人でも増えてくれることを願って、この土地の空気、音、匂いが伝わるような情報を毎月発信していくたいと考えます。それが、今の時代、この地で雑誌を出版するものの使命だと考えて。

